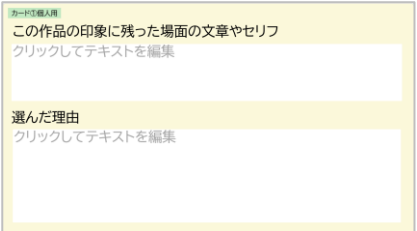
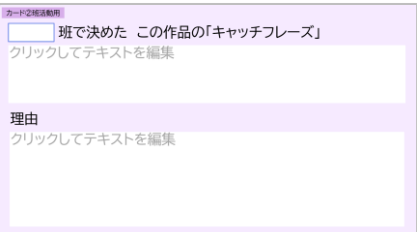
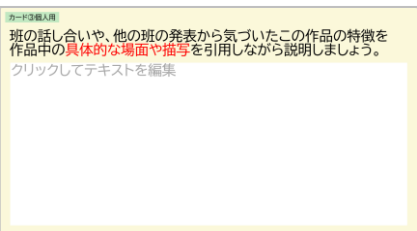


学年	教科等	単元等	活用アプリ
中1-3	国語	読む（物語文）「作品のキャッチフレーズを考える」	オクリンクプラス みんなのボード
授業 内容	具体的な場面や描写をもとに、作品の印象や特徴を伝え合う		カード①個人用  カード②班活動用  カード③個人用 
	授業の準備： ・共有コードを使用してカードを取得する。 ・班活動用のみんなのボードを、班の数分用意する。 ・「カード①個人用」「カード③個人用」を子供たちのマイボードに送信する。 ・「カード②班活動用」を班活動用のボードすべてに送信する。 授業の流れ： 1. 「カード①個人用」を各自開く。作品の印象に残った場面の文章やセリフを、選んだ理由とともに入力する。入力後、自分の班のボードに送る。 2. 班で「カード①個人用」を読み合った上で、この物語を読みたくなる「キャッチフレーズ」について話し合う。話し合った結果を「カード②班活動用」に入力する。 3. 話し合った結果をそれぞれの班の代表が発表する。発表は、その班のボード上のカード①、②を各自閲覧しながら聞く。 4. 「カード③個人用」を各自開き、班の話し合いや、他の班の発表から気づいた作品の特徴について、作品中の具体的な場面や描写を引用しながら入力する。 5. 「カード①個人用」と「カード③個人用」を提出BOXに送信する。		共有コード  共有コードを入力、またはカメラを起動して二次元コードを読み込む pb01KYGPH6MBJZAE1HJ4BMG865RW
サポート おすすめ ポイント	・ 個人で具体的な場面や描写について抜き出した上で、班で話し合うことで主体的・対話的に作品の良さについて考えることができます。 ・ 「キャッチフレーズ」という観点で話し合うことで、焦点化した話し合いが実施できます。 ・ 班の話し合いや全体共有をふまえて、個人の考えを文章化します。		